



2021～2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ
第2620地区 ガバナー
小林 聡 一 郎

Rotary International D2620 (静岡第5グループ)

事務所 浜松市中区元城町109-18 〒430-0946
例会場 ホテルコンコルド浜松 例会日 毎週金曜日12:30～13:30
Tel:053-457-1116 Fax:053-455-4614
E-mail : hamamatsu-nishi@ri2620.gr.jp
会長 渡邊記余子 幹事 半場圭伊子
クラブ委員長 山下隆久 北野一正 鷹見剛志
竹村寿文 須藤京子

第2088回 Vol.45-No.5 2021/8/6(金) 12:30～13:30(晴)

司会SAA 佐藤隆是君
点鐘 会長 渡邊記余子君
国歌斉唱「君が代」
ロータリーソング 「奉仕の理想」
ソングリーダー 山下隆久君



出席報告



渭原浩介君

会員数	総出席	当日出席率
51名	48名	96.0%

(免除者 15名) (事前MU 0名)

会長挨拶 渡邊記余子会長

皆様こんにちは！本日も皆様とご一緒に例会が執り行われることに感謝申し上げます。先週は合同例会でグランドホテルまでお越しいただきありがとうございました。合わせてお疲れでございました。

さて、小林ガバナーと面談しクラブ要請事項にあります今年の中長期戦略計画を小林ガバナーにもお目通しいただきましたので今日は皆様の机に配っております。説明致します。

◎浜松西RC中長期戦略計画

1. 目標 (会員増強) 現在 (2021.07) 51名
中期目標 (5年後) 55名
長期目標 (10年後) 60名
2. 戦略計画
 - A 例会の見直し
夜間例会、合同例会回数を増やし、自クラブとの会員間や他クラブとの交流推進を図る。
 - B 奉仕事業の充実化
自クラブの事業計画を早めに立案することで奉仕活動を着実に実施できるようにする。
 - C RCの活動を地域の人たちにも参画していただきSNSやHPに動画で載せる。地域の人ご自身が動画に載れば必ず興味をもって見てくれる。
 - D グローバル補助金が使えそうな奉仕活動を模索する。特別委員を設け2、3年後に実現できるようにする。
 - E 節約ランチの継続化
奉仕活動への財源の捻出
 - F RLIへの参加の推奨
RLI参加による自己啓発、情報取得を奨励する。常に会長エレクト次期幹事、理事3名ほどの出席を依



頼する。

以上をガバナーにも説明しました。ガバナーからは大きくうなずかれお褒めの言葉もいただきましたがもう一つ浜松西RCの独自性は何なのか地域社会における存在価値をどのようにつくるかという問いに西RC独自で行ってきたものはこのところ無くどこかと共同でというものが多かったのですが、今年は舞阪中学における防災マップ、これは西RC独自のもので中学への交渉から始まり徐々に計画が立てられ始めています。通学路の防災マップを作ることで子供たちとのふれあいや災害が起きた時の避難経路にも結びついて地域社会にもお役に立てるはずだと説明をしたところ、是非とも単年度だけでなく継続し、西RCの独自性に繋げて欲しいと言われました。是非とも今年の防災マップが順調に滑り出し来年に繋がられますように皆様ご協力をお願い致します。

それともう一つ、今頃来てもとは思いましたが、ガバナーよりお願いだそうで国際ロータリー第2820地区でロータリー奉仕デーとして地球環境保全プロジェクトを立ち上げ世界中のロータリアンが同じ日にそれぞれの地区で海岸清掃を行ってくださいとの要請です。今日の理事会で詳細が決まりますので是非ともご協力をお願い致します。

そして今日は、青木会員増強・維持委員長が、南RCバスターガバナー補佐の杉浦様を卓話にお呼び下さっています。これもクラブ要請事項の中にあります。会員増強につきましてのお話しが聞けるのではないかと楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

そこで、今日の私へのメッセージ共感いただけたら幸いです。時は大事です。いくら一生懸命やっても、時があわなければ、成熟しません。ひまわりは、夏咲くのです。いくら肥料をあげても春には咲きません。時は大事です。しかし、時を読むことは、非常に難しいです。繰り返しの経験によって会得するものでもあります。時を読むことは難しいですが、時を感じることはできます。時を感じる感性を大事にしてください。もし、自分に時を感じる感性も無いと思うならば、常時一生懸命にやってみてください。常に一生懸命やっていたら、時が来たら勝手に成就します。時を読むことばかり意識を配り、何もしてないよりは、常時、一生懸命やってるほうがはるかに成就する可能性は高いです。下手な鉄砲も数撃ちゃ当たる ですよ…。でも時は大事です。人生にも、時があります。同じように努力しても報われないときもあります。ほとんどがこちらです。ある時不意に、努力が大きく報われることがあります。時が至ったのです。ただ、一年でひまわりが咲くのは、ほんの少しの時間です、あとは年に一度咲くための準備をしているのです。人生も同じです。不意に努力が報われるのは、ほんの少しの時間です。

あとは報われない時間がほとんどです。ただ、人生は工夫ができます。ひまわりの種だけでなく、薔薇もチューリップも水仙も、咲く時期が違う花の苗を植え続ければ、一年で花が咲いている時間を多くすることができます。いつも違う種を蒔き、育て、花を咲かせるという工程をし続けるのです。それもすべて時に合わせておきことです。時は大事です。時を読むことは難しいですが、時を感じることはできます。今日という時を感じ今日、種を蒔き、今日育て、今日花を咲かせることを同時並列で行ってください。そうすれば、いつも花が咲く人生を送れます。今日という時が、あなたにとって、素晴らしい時であることを強く願っています。

指導塾かってな応援メッセージより

色々な予想もつかない出来事がいつどこで起こるか分からない。そんな現状ですがロータリーの活動も地道にやっていたらいつか花が咲く時があると思います。

幹事報告 半場圭伊子幹事

◎例会変更のお知らせ

- 浜松北RC (グランドホテル浜松)
- ・ 8月11日 (水) 特別休会
- ・ 8月25日 (水) 11:30~12:30
- 浜松中RC (グランドホテル浜松)
- ・ 8月13日 (金) 祝日週休会
- ・ 9月10日 (金) 18:30~19:00
- ・ 9月24日 (金) 祝日週休会



◎配布物

- ・ 週報 2086・2087号 ・ガバナー月信
- ・ ロータリーの友8月号

◎報告事項

- ・ 10月12日の観月会の中止
- ・ ガバナー補佐より公式訪問のお礼が届いています。全文は情報の広場。
- ・ 「ロータリー日本100年史」が届いています。ご覧下さい。

スマイルレポート 山本英明君

◎青木元男君

バストガバナー補佐の浜松南RCの杉浦仁さんをお迎えしました。卓話をしていただきます。よろしくお願いします。



委員会報告

◎山地峰春会員増強・維持委員会委員長

7月31日(土)地区の会員増強セミナーがオンラインで開催され渡邊会長と私が参加してまいりました。

会員増強は、各クラブがそれぞれに「中長期的」に行動を起こさなければなりません。当クラブでもアクションを起こせるように戦略計画委員会・会員増強委員会と相談しながら進めてまいりたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。(※一部のみの掲載とさせていただきます。)



◎中村俊幸社会奉仕委員

東京パラリンピックブラジル選手団のボランティア活動用のユニフォームが届きました。参加を表明している方にお配りしますのでよろしくお願い致します。



◎佐藤隆是君

昨年度の内容等が入ったUSBを配布しました。また、五十川 敏 新会長年度が始まりました。

☆会員誕生日

河島将矩君 高林嘉一郎君 坂本修一君 岩淵綾太君
中村美香保君 瀧本健司君



☆配偶者誕生日

山本麻衣子さん (卓 生君)
松山代枝子さん (巨 男君)
齋藤 慶子さん (昌 彦君)
土屋 友美さん (健 君)
青木 和代さん (元 男君)
須藤 雅夫さん (京 子君)

☆結婚記念日

早川 和幸君・孝子様 ご夫妻

本日のプログラム

担当 青木元男会員増強委員長

発表者 杉浦 仁様

(浜松南RC 2020~2021ガバナー補佐)

タイトル 会員増強について

皆様、こんにちは。私はただ今ご紹介いただきました、南RCの杉浦と申します。どうぞよろしくお願い致します。(中略)

1. 会員増強は増強が目的ではなく、増強してから後、何をするかが大事。
2. 入会は一定です。退会を減らすことが大事。これは少々違うかもしれませんが、南RCではさるJC卒業生が、後輩のJC卒業生を多い時一度に10名以上入会させました。私なんぞ、新人の名前も知らない。南RCの伝統である、100%出席なんて、屁ほど考えていない人が増えました。嘆かわしい事です。
3. R-dayを作り、友人・知人を例会に招待する。
4. 魅力があれば入る。魅力があれば辞めない。
5. 「君と仲間になりたいんだ」と言って誘う。
6. 「君は気づいていないと思うけど、君は僕のことが好きなんだ」と言って誘う。

最後に、会員増強についての結論は、Rに昔の輝きを取り戻し、Rがステータスになれば、自然に人が集まる。無理矢理集める事はない!! 有難うございました。



◆本日の例会メニュー

温野菜ととびあポークの煮込みカレー
トマトとポテトのサラダ
コーヒー